



共育に関する情報をお届けします。

「UNI-ONE × 妙香園 親子PBL授業、第3回を開催。」

The third lesson

第1回子ども会議

最終回の授業(プレゼンテーション)に向けて、

『妙香園をもっと子どもたち(小学生)に知ってもらおう』というテーマで準備を進めていきます。会議は子どもたち主導で進めていきます。4人の妙香園こども社長が誕生した、今回の会議の様子をお届けします。あっという間の2時間。子どもたちからは時間が足りないという声も。

共通点探し

今回は4名の子どもたちが参加、初めて参加するメンバーもいたこともあり、4人に共通することを探すことからスタート!

4人の共通点は・・・

『じゃがりコのサラダ味が好き』でした(^^)



なぜ、好きなのか?
をみんなで話し合い
発表してくれました。

何やら作戦会議中の様子

前回の復習

前回欠席したメンバーのために、
前回参加した子どもたちから情報共有をしました。



前回抹茶を試飲した
際に、使用した口元
が金属の茶器も見せ
ていただきました。

社長って どんな人?



みんなが思う社長のイメージをきいてみました。

- ・会社をまとめる人、リーダー
- ・努力家、
- ・えらい人
- ・起業した人
- ・お金をもっている

椅子でくろく
しているイメージ
との意見に
賛同の声が



↑社長のイメージ図??

方針決定

どうやって進めていくか、方針を決定。

「意見を聞かない社長は嫌だ、だからといって意見を言わず人に任せきりになるのもおかしい。」

とそんな意見が出る中・・・

4名の子ども社長は全員一致で

『みんなで協力しながら進めていく』
ことになりました。

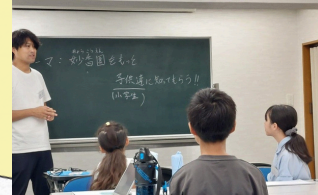
妙香園の社員さんからは
『会社の顔』
人となりも含めて、
会社を表す存在との意見が。



次回は

沢山出たアイデアから、
子どもたちで話し合い、意見をまとめました。

次回はこの意見を深掘りし
ていきます。街の中にヒント
がないか見てみてね!
というお題が出ていました。



『妙香園をもっと子どもたちに

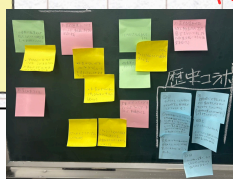
知ってもらうために』

どうしたらいいか?

色々なアイデアが出て
きました。事前に資料を用意し
てきてくれているメンバーもいて、
とにかく発想が
素晴らしい!★

アイデア出し

全体のアイデア
の1/4がこの量★
スライ!



せっかく会議をしたのに、意見が出てこない、会議の決定に納得感がもてない、意見を出すメンバーはいつも同じになっている・・・そんな経験ありませんか？

それにはいくつかの原因があります。

上司による発言の独占、会議の目的・方向性の不明瞭さ、発言しにくい会議の雰囲気、等々。

『**会議**』とは特定の議題について関係者が集まり、情報共有や意見交換を行い、合意形成や意思決定を行うための「公式な場」とされています。

まさに今回の子ども会議では全員が発言し、活発に意見がでました。また、みんなで方針を決定し、その日のゴールまで進行することができました。それはなぜでしょうか？

ファシリテーターの存在

ファシリテーターとは、会議などの場で中立的な立場から議論を促進し、参加者の合意形成や問題解決を支援する役割を担う人のことです。今回、子ども会議ではこの存在が重要になります。

一切決定はせず、単なる「進行役」以上に、参加者の力を最大限に引き出し、場をゴールへ導きます。進行のサポート、意見の引き出しと活性化、合意形成の支援、心理的安全性のある場作り等、多岐にわたります。

会議は『成長と信頼を育む場』

子どもたちの会議で見られたように、全員が安心して意見を出し合い、自ら方針を決めて進む姿は、大人の会議にも通じます。会議は単なる意思決定の場ではなく、チームを育て、信頼を深める貴重な機会です。この「会議の質」がチーム力や組織成果を大きく左右します。その意味で、ファシリテーションは会議をチームビルディングの場へと変える重要な仕組みであり、今、多くの企業が注目して外部ファシリテーターを活用し始めています。

会議は“単なる報告や決定の場”から“成長と信頼を育む場”へと進化しています。



Staff's voices

関係者の想い Vol.02

共育のプロフェッショナル



妙香園
寺田 様

“ひとみちゃん”の愛称で
子どもたちからも大人気♡

子どもたちのアイデアに
『なるほど』と感心しています。
私たちの参加する会議ではこんな
に活発な意見は出ていなかった
ので、驚きました。
とても楽しそうで、理想の会議の
姿だと思いました。

『こんな子どもの頃にやってみたかった！』

そんな思いが詰まった体験プロジェクトです。
子どもたちが本気で学び、考える姿に、大人もハッとさせられる。
子ども向けと思いきや、大人も一緒に育つ。
まさに、学び合いの時間です。



Dr.Hayakawa

言語聴覚士、公認心理師
大学教授
担当科目
発声発語障害学
(機能性構音障害・器質性構音障害)

Next

第4回は『たくさん考える』です

今回の妙香園様との共創PBL(問題解決型・主体的)授業は全6回を予定しています。

第4回では、アイデアをカタチにしていきます。

「なぜ必要?」「誰に?」「どうする?」「どう変わる?」「お金は?」という流れを通じて、ただの思いつきではなく“相手を納得させる企画の組み立て方”を自然に体験していきます。

子どもたちは“社会の見方・企画の型・伝える力”をワークを通して楽しみながら学んでいきます。

また、大人もその姿から多くの学びが獲られるでしょう。

合同会社 Uni-One

所在地：愛知県名古屋市中千種区桜が丘119-110

代表：室園 幸志 (CEO)

事業内容：共育事業・企業支援事業・美容と癒し事業

🌐 <https://uni-one.co.jp>

✉ company@uni-one.co.jp ☎ 052-990-0152

・思考とコミュニケーション・



お友達登録もお願いします(^^)

